**「○○の」のおねがい**

こんにちは。　　　　　　　　さん

わたしは、センターで はたらいているです。

これから「○○の」についてのおしをします。

※病気についてわかりやすく記載すること

　　　　　　　　さんは、≪病気についての説明：がぜーぜーヒューヒューして、がしくなる「きかんしぜんそく」≫というで、このをためにしなくてはいけません。

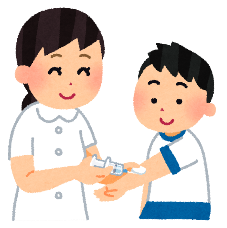
※研究についてわかりやすく記載すること

わたしは≪病気きかんしぜんそく≫がよくなっているかどうかや、にかよったりするがあるかどうかをべるをしています。

の「」はのでがよくなっているかどうかをべるための「」です。

※検査のスケジュールをわかりやすく記載すること

このにすると を 、してから、してからのします。のはみがあります。



の

査nnk　　　　　　　　さんのがよくなっているか、のをしてもよいですか？

このおねがいを「いいよ」ということは、　　　　　　　　さんがめることで、だれかがやりなさいということではありません。

「いいよ」とおしてくれたあとも、いつでも「いや」ということができます。

をする、しないによってですることがかわるようなことはありません。

がをしなさいということもありません。

　　　　　　　　さんののをほかのとときは、おをなどにかえて　　　　　　　　さんだとわからないようにします。また、このおねがいでしたをがまってするなどでしたり、のためのにのせることがありますが、おはわからないようにします。

のをまとめたものなどは、から５にはシュレッダーにかけるなどして、すててしまうことをおやくそくします。

かわからないことがあったら、たずねてください。これからもわからないことがあったりをしたいことがあったら、にいてあるところにかおをください。

：

：〒３７０－０８２９

３６

：０２７－３２２－５９０１

このおねがいをけていいよというときにはべつのにおをいてください。

「にしてもよいです」の紙

（研究協力者用）

は、「のおねがい」のにかれている、のをいて、をしてもよいです。

1. をすることはがめてよいことです。
2. をすることをいつでも「いや」とってよいです。
3. 「病気≪ きかんしぜんそく」がよくなったかべるを見つけるために、でなにがわかるかをべるのためのです。
4. のがやじのおともだちにてられます。
5. をする、しないによってですることがかわるようなことはありません。
6. のをまとめたものを、するもだれのかはわかりません。
7. いつでもにすることができます。

(あなたのお)

（）

：

：〒３７０－０８２９　３６

：０２７－３２２－５９０１

このは「へのおねがい」といっしょに、平成〇年〇月〇日まで、おうちの人にわたしてください。そのは、ててください。また、こののもう１は、がかぎのかかるところでにしまっています。

「にすること・したことをやめる」の紙

（研究協力者用）

（）

は、「○○の」についてししてもよいですといましたが、そのことについて「いや」であることをえます。

(あなたのお)

このを「けりました」ということをおえするために、もこのにをいて、あなたに「してもらったことをべることにつかいません」ということをおえするので、をおうちのにかいてもらってください。

よろしくおねがいします。

ご

（）

：

：〒３７０－０８２９　３６

：０２７－３２２－５９０１